

# マネジメントサイクルの定着化（行政評価制度の見直し）（伊予市）

## 【取組概要】

行政評価の本格導入から5年が経過し、制度そのものの疲労や慢性感の蓄積の懸念が生じてきたことから、制度の見直しを実施。見直しにあたっては、これまで現行制度を確立し、運用してきた職員自らが課題や問題点を明らかにし、改善点を検討。

人口 39,023人  
担当部署: 行政改革・政策推進室

## 【見直し項目】

〔評価対象事務事業について〕  
評価による効果が見込めないものを評価対象外として取り扱う。（一般事務、基金、扶助事務等）

〔自己評価担当について〕  
サブ担当者の設定

〔外部評価のあり方について〕  
外部評価対象事業の抽出方法の見直し等（行政評価委員会による評価事業抽出）

〔評価シート及びシステムの改修〕  
レイアウト等の見直し、作業の効率化

## 【取組みの効果】

現在、見直しの具体化を進めている最中。改めて検証を行う必要があるが、外部評価事業選択の透明性の確保や、評価対象事務事業の評価内容の充実・スピードアップ、評価の俗人化の解消等の効果が得られると考えている。

## 【他団体へのアドバイス】

運用する職員の意識が向上しなければ、「やらされ感」がなくなり、行政評価の期待される効果は得られない。評価を行う職員の意見にも耳を傾け、職員自らが考えていくように巻き込んでいくことが大切。

## 【創意・工夫した点】

行政評価に関わる全ての職員から意見を集約できるように、各課で選任されている行政評価推進員が中心にとりまとめを行い、同時に上位評価者の視点からの意見を集約するために各部長にも調査を実施。